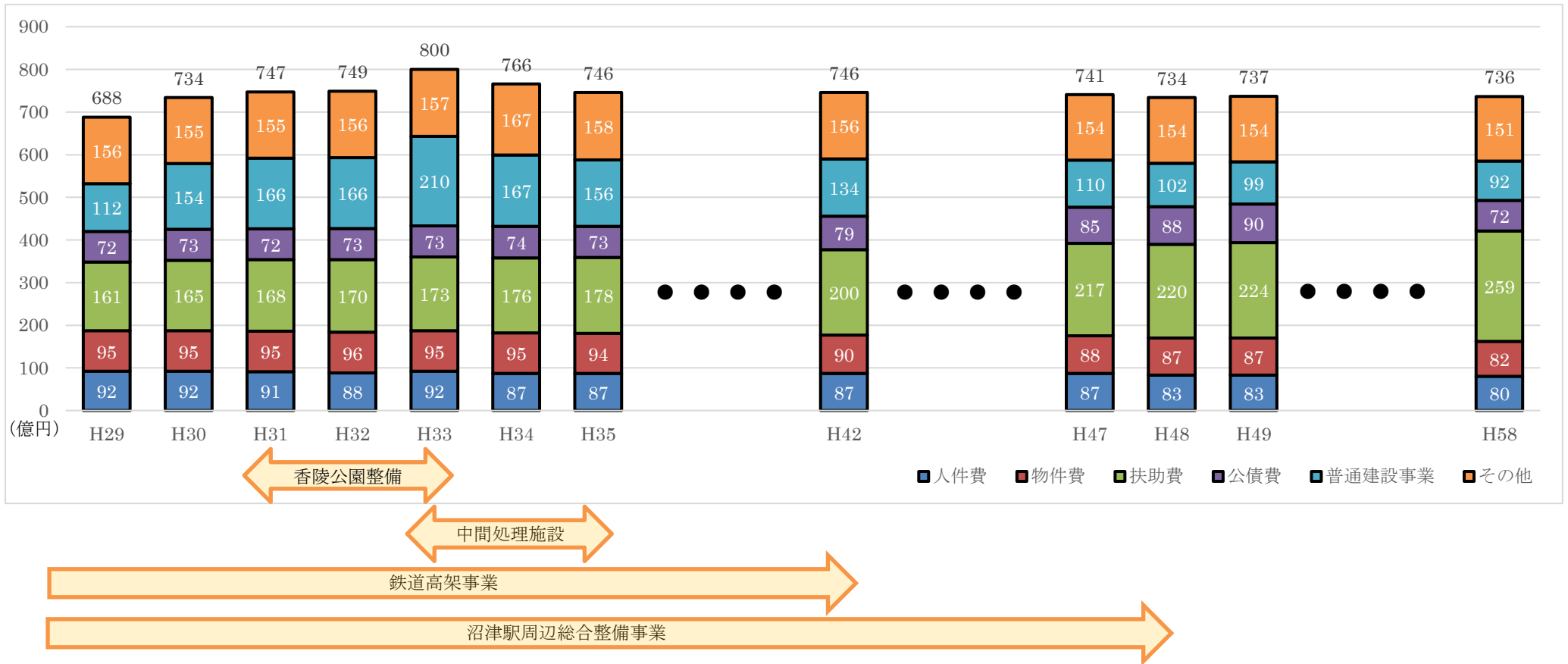


(2) 歳出総額

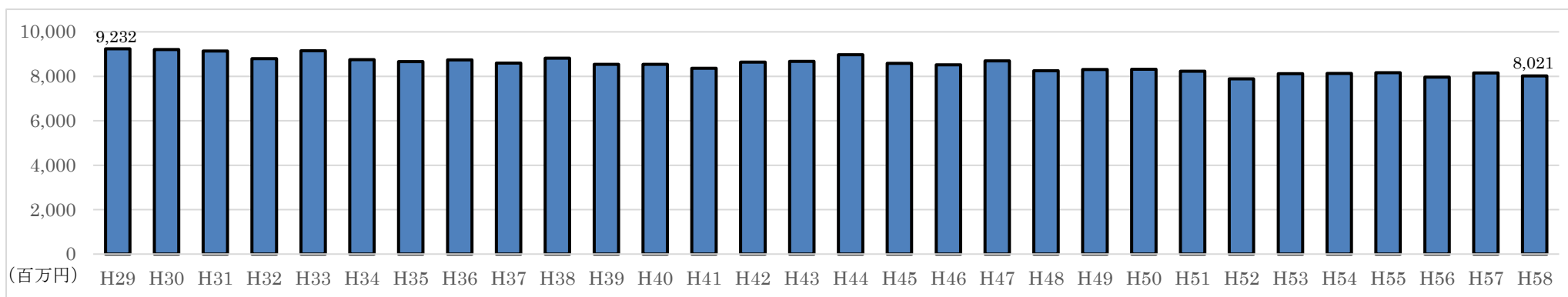
- 香陵公園周辺整備事業と中間処理施設事業が重なる平成 33 年度は歳出がピークを迎えると予想されます。
なお、平成 42 年度鉄道高架事業終了により普通建設事業の伸びはなくなり、扶助費が伸びていきます。



- 平成 29 年度決算見込みを基準としています。
- 人件費・物件費・扶助費等は、人口減少の影響を考慮しています。

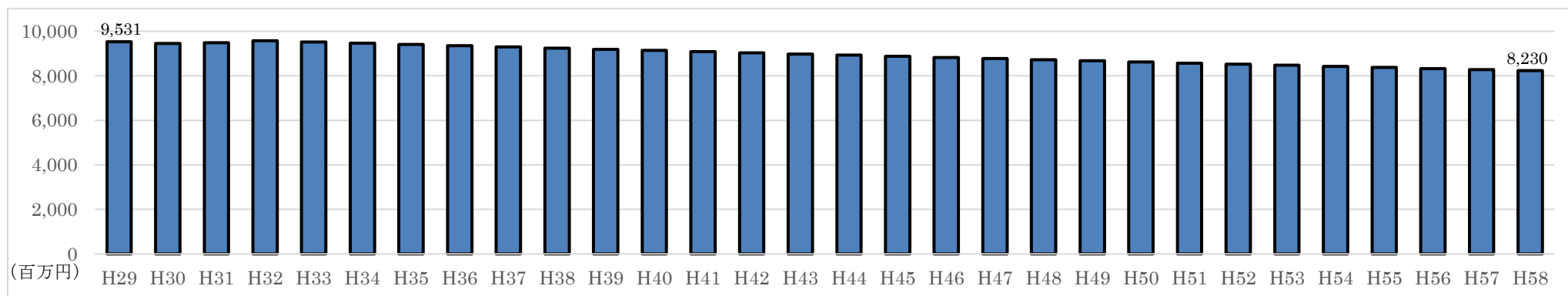
①人件費

・職員数は人口による都市規模に比例することから、人口減少の影響を見込んでいます。



□職員給与及び手当（退職手当を除く）の総額を、毎年▲0.58%減少させています。

②物件費

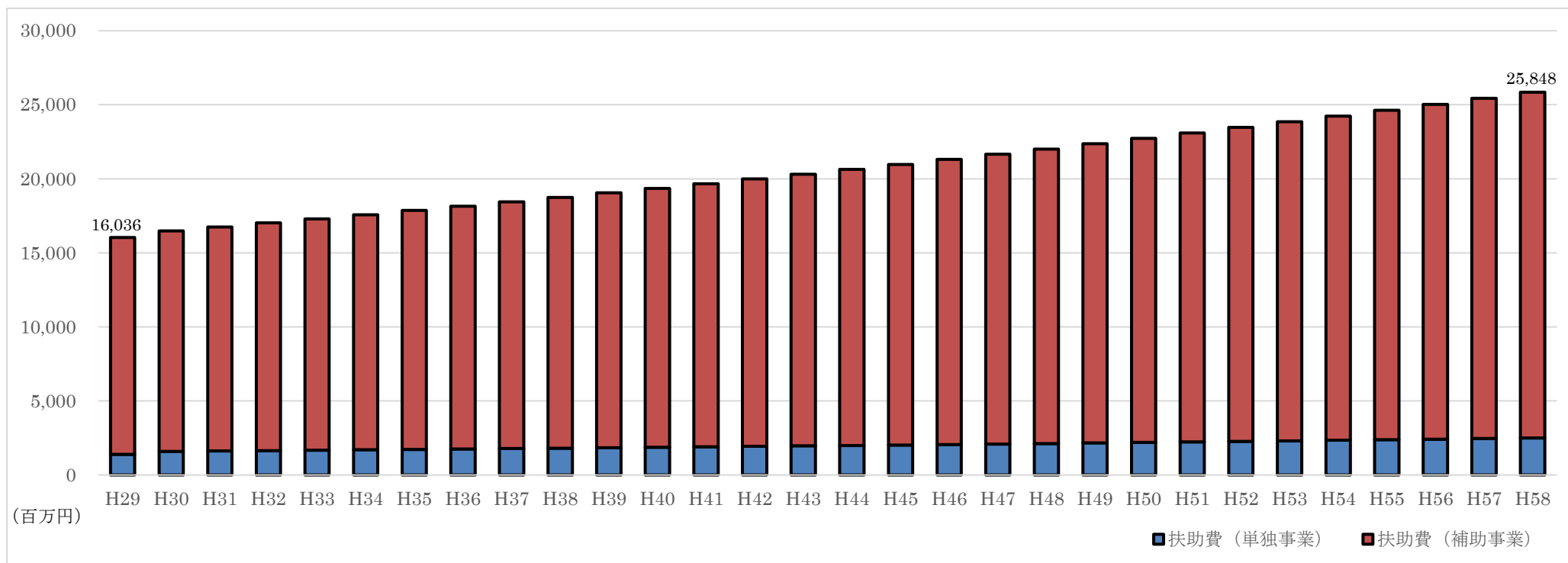


□公共施設の光熱水費や業務委託費は、公共施設床面積の減少に伴う影響として、また予防接種費などは人口減少の影響として、毎年▲0.58%と見込んでいます。

□平成31年10月の消費税10%への増税の影響を加算しています。

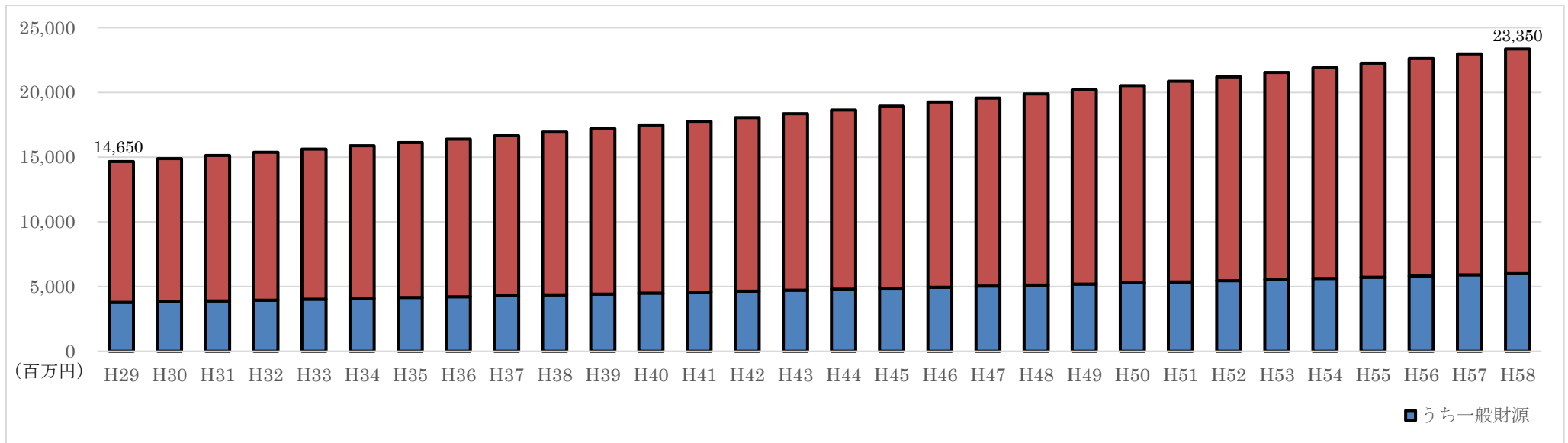
③ 扶助費

・人口減少による影響はあるものの、『団塊の世代』の高齢化など扶助費は増加すると見込んでいます。

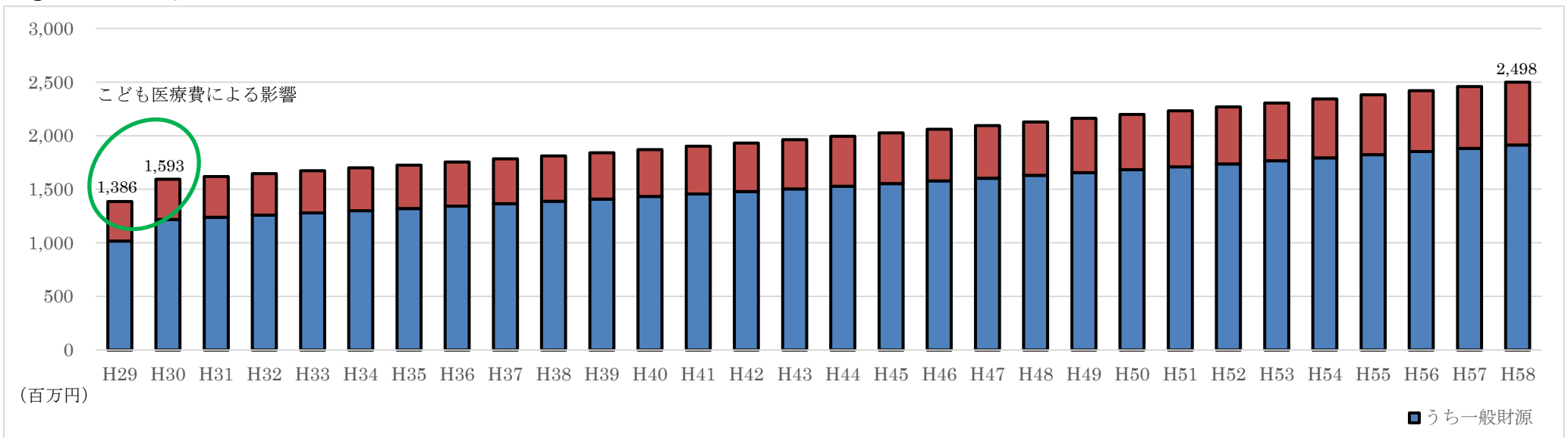


- 直近3か年の伸び率（2.2%）に人口減少の影響として、毎年▲0.58%を考慮し、伸び率を1.62%としています。
- 平成29・30年度に18歳相当年齢以下のこども医療費無料化の経費について個別に加算しています。
- 国の制度に基づき実施する補助事業の市負担分は、全額基準財政需要額に算入されるため、地方交付税に加算しています。

③ - 1 扶助費（補助事業）

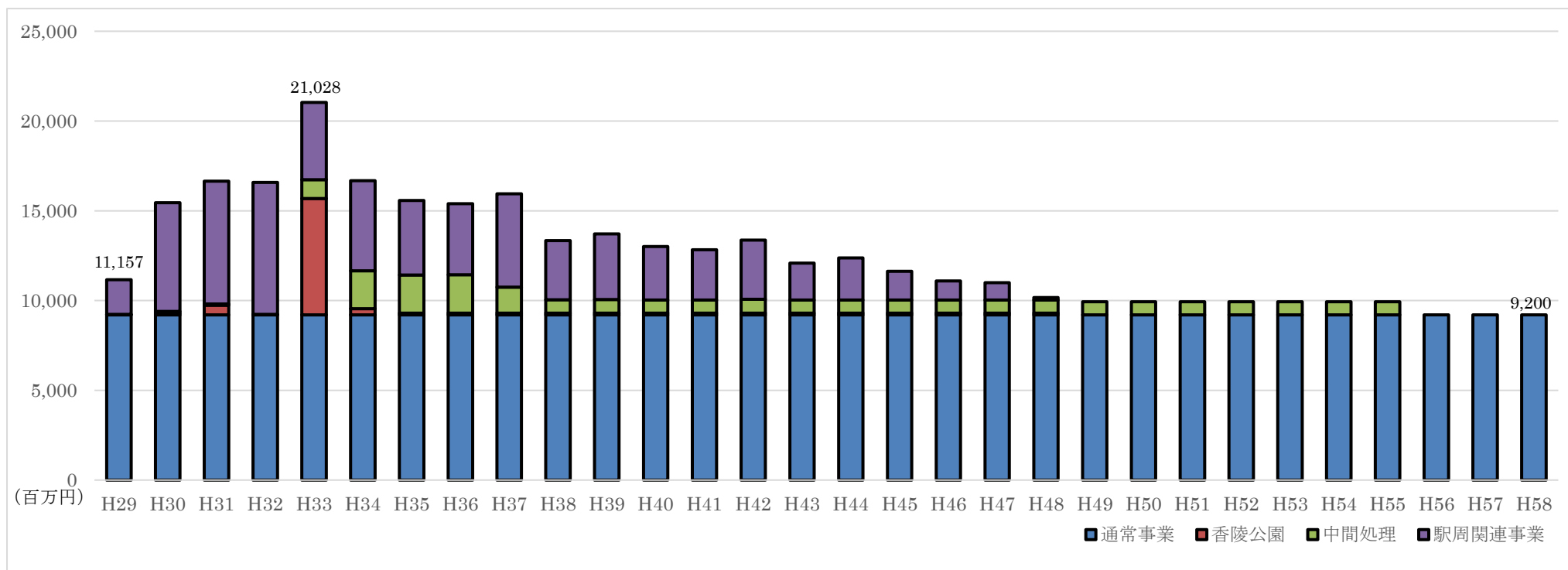


③ - 2 扶助費（単独事業）



④普通建設事業費

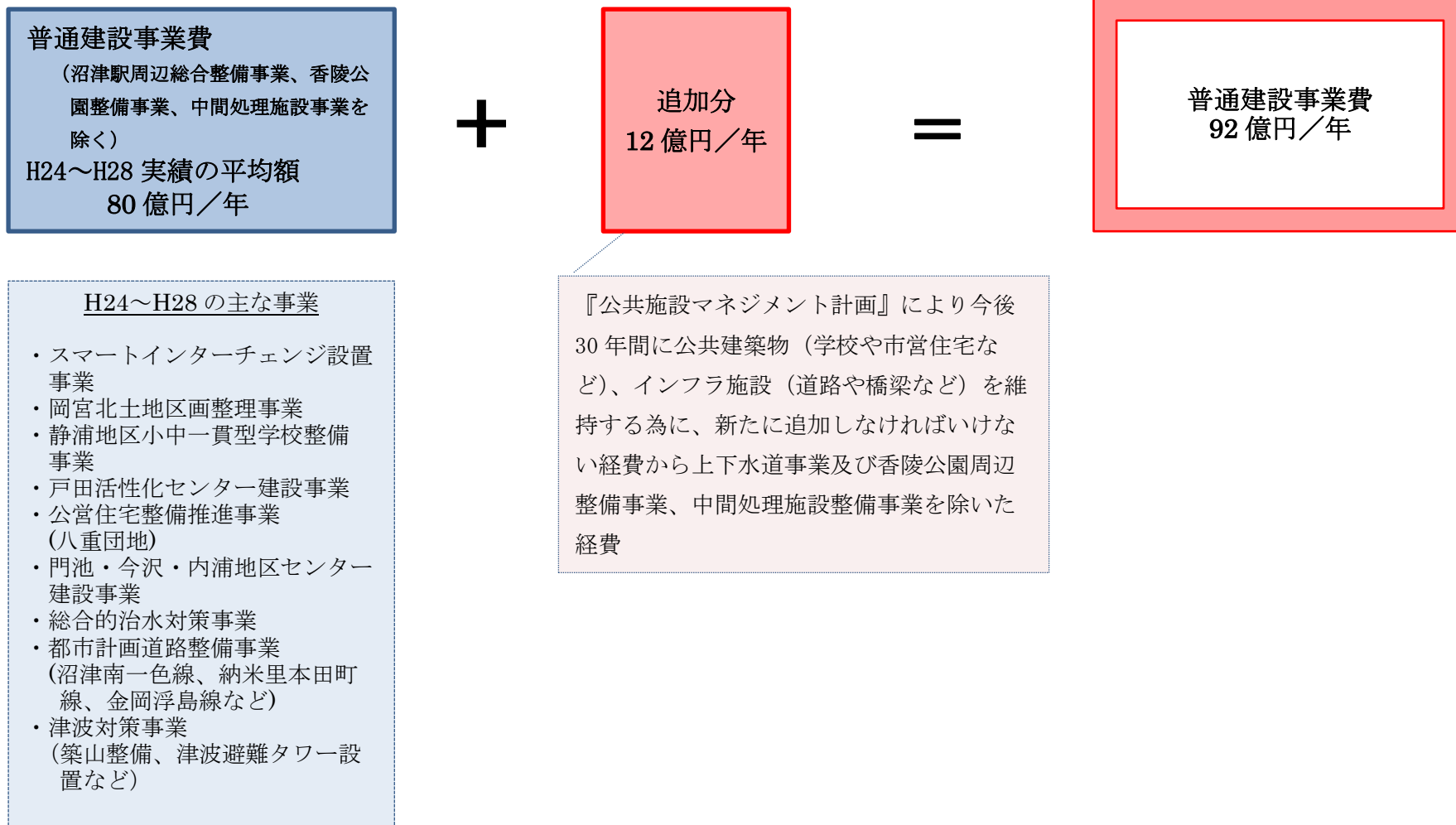
- ・香陵公園周辺整備事業と中間処理施設事業が重なる平成 33 年度に普通建設事業費のピークを迎えると予想されます。



- 沼津駅周辺整備事業のうち鉄道高架事業は、平成 42 年度完了、その他の道路事業・区画整理事業等については、平成 48 年度完了としています。
- 香陵公園周辺整備事業は、立体駐車場を平成 31 年度建設、新市民体育館を平成 32・33 年度建設としています。また、一般財源の平準化のための事業手法により試算しています。
- 中間処理施設整備事業は、平成 33～35 年度建設としています。また、一般財源の平準化のための事業手法により試算しています。
- その他の事業（通常事業）については、毎年度 92 億円としています。

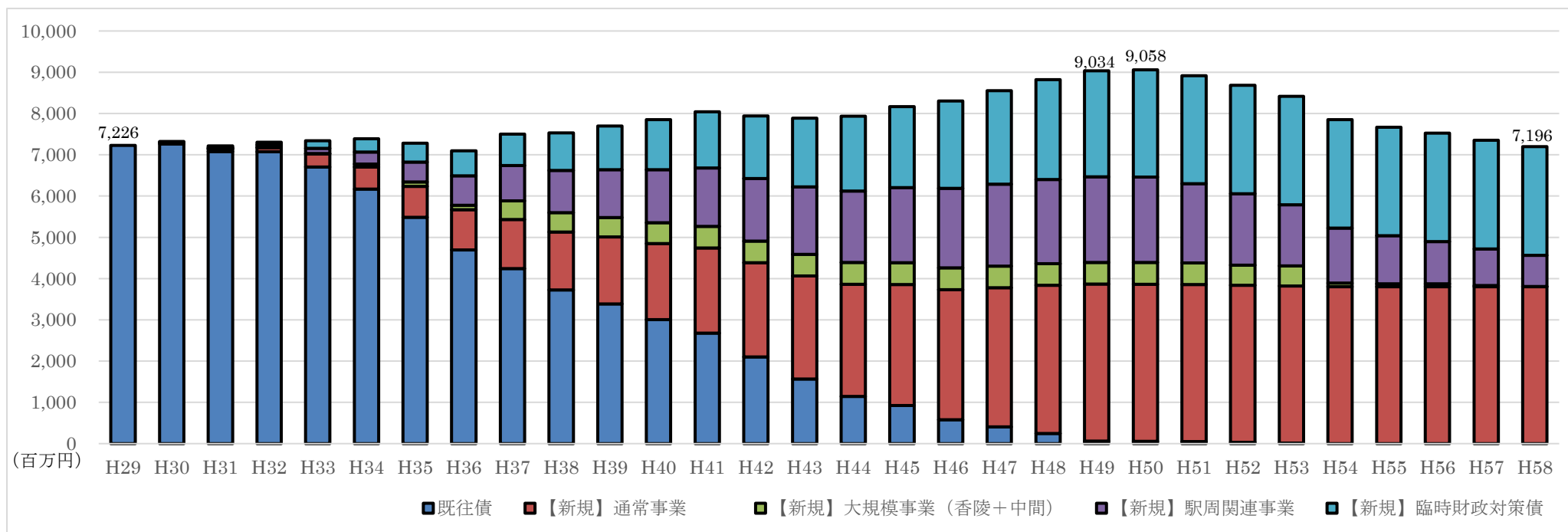
④-1 普通建設事業費（通常事業）

- 普通建設事業費を平成 24～28 年度決算額の平均 80 億円に加えて、『沼津市公共施設マネジメント計画』に基づき、新たに負担が必要とされる 12 億円を加えた毎年 92 億円と見込んでいます。



⑤公債費

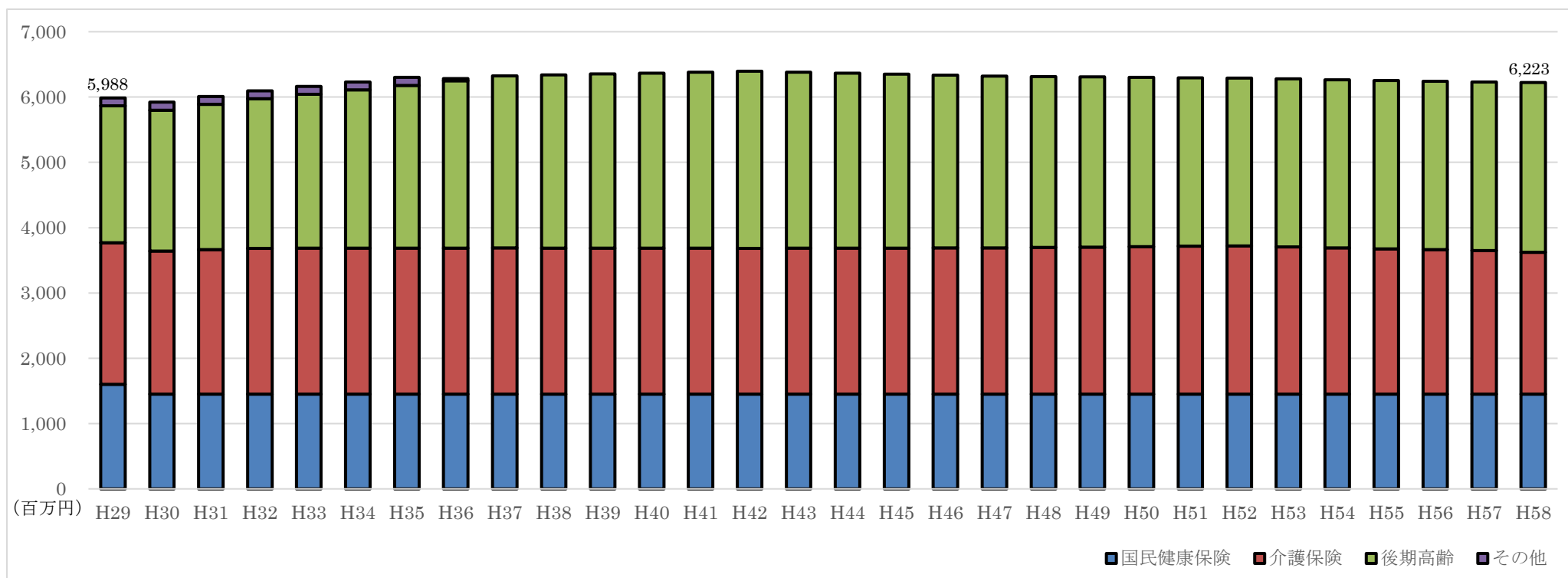
・公債費のピークは、90 億円を超える平成 49・50 年度となります。



- 期間内の新規借入については、基本 20 年償還 3 年据置とし、利率は、直近の借入実績や長期プライムレートを参考に、1%と設定しています。
- 沼津駅周辺総合整備事業の終了により、平成 49・50 年度に公債費のピークを迎えると予想されます。
- 沼津駅周辺整備事業に対する公債費については、元利償還金に対し、9 分の 2 は交付税措置として地方交付税に加算しています。
- 新市民体育館に対する公債費については、公共施設等適正管理推進事業債を活用し、その元利償還金の 50% は交付税措置として地方交付税に加算しています。
- 中間処理施設事業（解体費を除く）は、公債費による市債の償還ではなく、P F I 手法により普通建設費に平準化され計上しています。

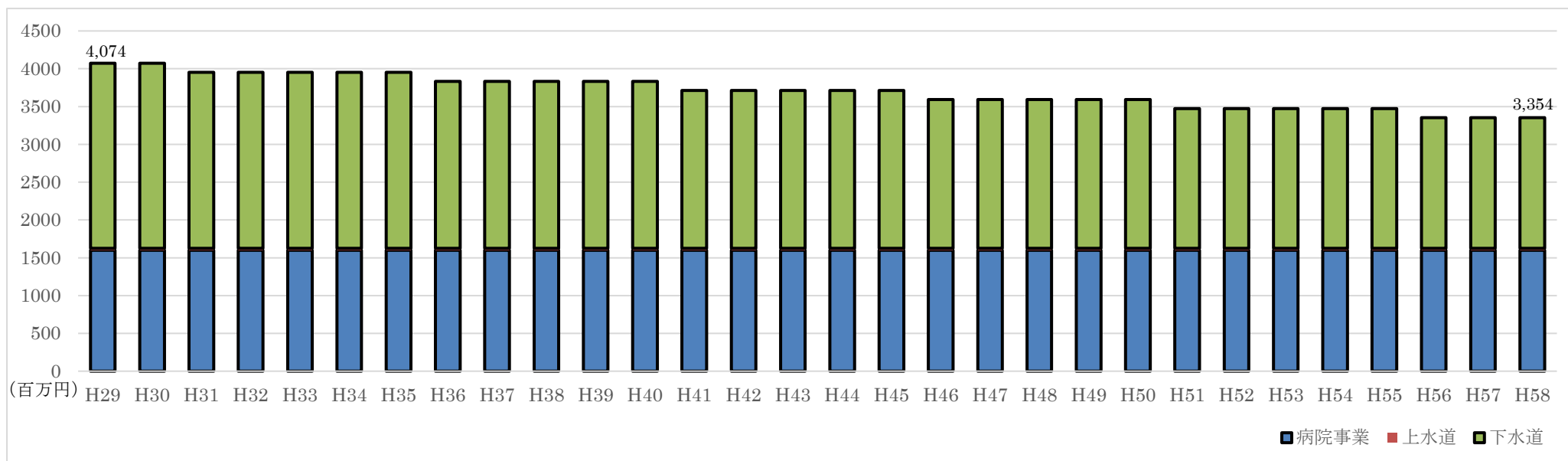
⑥繰出金

⑥-1 特別会計繰出金



- 国民健康保険事業：平成29年度は16億円とし、平成30年度からは制度改正があるため、法定繰出金分14.5億円を見込んでいます。
- 介護保険事業：『沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』をもとに65歳以上人口の増減率により、見込んでいます。(～H32：+0.98%、～H37：+0.04%、～H42：▲0.04%、～H47：+0.06%、～H52：+0.26%、～H57：▲0.64%、～H58：▲1.14%)
- 後期高齢者医療事業：『沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン』をもとに75歳以上人口の増減率により、見込んでいます。(～H32：+3.02%、～H37：+2.84%、～H42：+0.58%、～H47：▲0.62%、～H52：▲0.46%、～H57：+0.10%、～H58：+0.66%)

⑥-2 企業会計繰出金



- 病院事業：16億円の定額としています。
- 下水道事業：普及率の上昇を考慮し、段階的に縮減させています。(～H30：24.5億円、～H35：23.3億円、～H40：22.1億円、～H45：20.9億円、～H50：19.7億円、～H55：18.5億円、～H58：17.3億円)
- 上水道事業：平成29年度決算見込み24百万円の定額としています。

⑦その他

- 維持補修費：公共施設の総量は削減されるが、H29決算見込みを基準とし、平成31年10月の消費税10%への増税の影響を加算しています。
- 補助費等：平成29年度決算見込みの定額としています。